

「東京サステナブル会議2017」


～ESGとSDGsで飛躍する～

ご案内

日経BP社

2017年6月

サステナブルプロジェクトについて



“サステナブルな社会と
経営をともに考える”

2015年11月30日からフランス・パリで開催されたCOP21(国連気候変動枠組条約第21回締約国会議)で、2020年以降の温暖化対策の国際的枠組み「パリ協定」が採択されました。この歴史的な決定により、今世紀後半には人間の活動による温室効果ガスの排出量を実質的にゼロにしていくという目標が掲げられ、その目標に向けて全世界が取り組むこととなりました。

社会全体が資源の蕩尽からサステナブルへと大きく方向性を変えるなか、投資の世界でも、ESG(環境、社会、ガバナンス)に配慮する企業にこそ投資すべきという考え方が主流になりつつあります。もはや環境に配慮し、社会の課題解決に貢献する企業でなければ、経営を持続させることはできないと言っても過言ではありません。

この新しい価値観を経営に取り込みながら、社会と共に発展を続けていくために、何をすべきなのか。

志の高い企業の皆さまとともに、持続可能な経営と社会のあり方を考えていきます。

日経ビジネス発行人 高柳正盛

ビジネスと社会のサステナビリティを考える 「サステナブルプロジェクト」

環境・エネルギー

加速する気候変動、資源の枯渇、水問題など、環境の保全は世界全体の喫緊の課題。環境を保全しながら発展を続けるためのテクノロジーや新たな社会的枠組みづくりが、求められている。

ex. 電力小売り完全自由化、省エネルギー、水素燃料、再生可能エネルギーなど

グローバル

国内市場の縮小が予想される中、企業のグローバル化は入口とする途上国市場の開拓は日本企業にとって重要なテーマであり、今回のCOP21も途上国を含む国際に取り組む必要がある。

ex. BOP、ESG

デザイン

障害者差別解消法が施行され、行政・民間を問わず障害者へのサービスが見直される年となる。また企業のCSR活動をブランディングへとつなげるソーシャルデザインの活用など、デザインの力がますます求められている。

ex. ユニバーサルデザイン、ソーシャルデザイン、エコデザインなど

調達

化石燃料、鉱物、森林、水産物、飲料水など、人間が利用してきた自然の恵みの限界が見え始めている。資源を保全しながら賢く利用するための各種認証やルールづくりが進んでいる。

ex. FSC/PEFC認証、MSC/ASC認証、紛争鉱物規制、EICC（電子業界行動規範）など

健康

サステナブル経営には、従業員の健康保持・増進が欠かせない。離職率の高い企業は優秀な人材を集められず、ノウハウや技能も伝承されない。

ex. 従業員のメンタルヘルスと身体的健康を守る組織体制、労働時間管理など

「東京サステナブル会議2017」

～ESG、SDGsで飛躍する～

企業が今後の成長戦略を考える上で欠かせないキーワードとして「ESG（環境・社会・ガバナンス）」と「SDGs（持続可能な開発目標）」が急浮上しています。地球温暖化や水資源枯渇などの環境問題への対応をはじめとして、貧困や飢餓の撲滅といった世界の課題を解決することが、企業にとってビジネスチャンスになるからです。サステナビリティへの取り組みで先行する欧米企業だけでなく、国内企業でも中長期の経営戦略にESGやSDGsの考え方を取り入れる企業が相次いでいます。

投資家や顧客からの評価を高めるためにも、この2つへの取り組みは欠かせません。ESGに配慮した投資を求める「PRI（責任投資原則）」への署名機関は、世界で1500機関、運用資産額62兆ドルに達しています（2016年4月時点）。これまで世界に後れを取っていた日本でも、GPIF（年金積立金管理運用独立行政法人）が今年からESGの新インデックスの運用を開始するなど、ESG投資が加速し始めています。

本シンポジウムでは、経営戦略を立案するマネジメント層をはじめ、実務担当者、投資家などを対象に、いかにして「ESG」「SDGs」を経営戦略に取り込み、今後の飛躍につなげるのかについて、先行企業の実践例を通じてお届けします。

本シンポジウムへの皆様のご参加を心よりお待ちしております。

開催概要

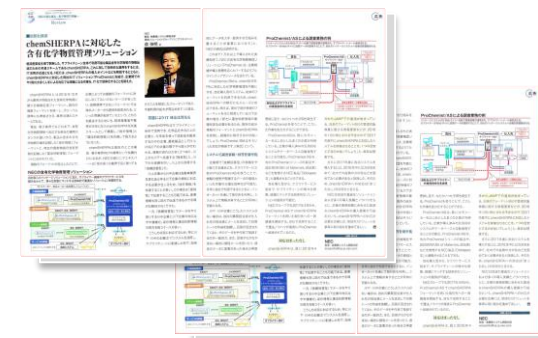
- 会 期:2017年 7月下旬(予定)
- 主 催:日経BP社/日経ビジネス 企画編集センター・日経エコロジー
- 会 場:都内会場 予定
- 参加対象:①社長・会長クラスの経営者・マネージメント層を想定
②環境・CSR関連業務に従事する意思決定者層、ビジネスパーソン
③投資家
- 定 員:400人(予定)
- 受講料:無料(事前登録制)
- プログラム構成

13:00-13:50	基調講演 50分
13:50-14:30	協賛講演(APPJ) 40分
14:30-15:10	協賛講演 40分
15:10-15:20	休憩 10分
15:20-16:10	基調講演 50分
16:10-16:50	協賛講演 40分
16:0-17:30	協賛講演 40分



プラチナ協賛

ご協賛料金 10,000,000円 (税別)



※画像は誌面掲載イメージ

- **ご講演枠：40分間を1枠ご提供**
- **受講登録者リストをご提供いたします（申込時にリスト提供の許諾を得られた方のみ）**
- **ご講演レポート：記事体広告を雑誌へ掲載**
 - ✓ 日経ビジネス 9月1日（売）予定 **4色4ページ**
 - ✓ 日経エコロジー 9月5日（売）予定 **4色4ページ**
- **日経ビジネスオンラインに、ご講演レポート（記事体広告）を掲載**
9月5日より1か月間の掲載となります
- **資料提供（受付時）：4点**

ゴールド協賛

ご協賛料金

6,000,000円 (税別)



※画像は誌面掲載イメージ

- **ご講演枠：40分間を1枠ご提供**
- **受講登録者リストをご提供いたします（申込時にリスト提供の許諾を得られた方のみ）**
- **ご講演レポート：記事体広告を雑誌へ掲載**
 - ✓ 日経ビジネス 9月1日（売）予定 **4色2ページ**
 - ✓ 日経エコロジー 9月5日（売）予定 **4色2ページ**
- **日経ビジネスオンラインに、ご講演レポート（記事体広告）を掲載**
9月5日より1か月間の掲載となります
- **資料提供（受付時）：2点**

シルバー協賛

ご協賛料金 3,000,000円 (税別)



※画像は誌面掲載イメージ

- **ご講演枠：40分間を1枠ご提供**
- **受講登録者リストをご提供いたします（申込時にリスト提供の許諾を得られた方のみ）**
- **ご講演レポート：記事体広告を雑誌へ掲載**
 - ✓ 日経ビジネス 9月1日（売） 予定 **4色1ページ**
 - ✓ 日経エコロジー 9月5日（売） 予定 **4色1ページ**
- **日経ビジネスオンラインに、ご講演レポート（記事体広告）を掲載**
9月5日より1か月間の掲載となります
- **資料提供（受付時）：1点**

個人情報を提供する際の取り扱いルールについて

日経BP社では顧客情報の提供にあたり、以下の内容を遵守していただくことを前提といたします。是非、ご確認いただきますようお願い申し上げます。

日経BP社の個人情報保護方針/個人情報の取扱いについて

<http://corporate.nikkeibp.co.jp/info/privacy/>

顧客情報の範囲

提供する顧客情報は「氏名」「勤務先会社名」「勤務先部署名・役職名」「勤務先郵便番号」「勤務先（または自宅）住所」「勤務先（または自宅）電話番号」「勤務先（または自宅）FAX番号」「電子メールアドレス」「業種など」のうち登録時登録されたものから、貴社が希望する項目とします。「業種など」はイベント単位で異なる場合がありますので、事前に担当者までお問い合わせください。

顧客情報の提供方法

顧客情報はパスワード設定してCD-ROMに収め、郵送いたします。別途パスワードは事務局より貴社ご指定の電子メールアドレスに事務局よりお送りします。

顧客情報の利用目的

提供した顧客情報は、そのもととなった貴社主催または協賛のセミナー内容に関連した貴社製品/サービスのご案内に限定してご利用ください。

顧客情報の利用方法

提供した顧客情報をもとに最初に顧客に情報を送る際には必ず、「提供した顧客情報のもととなった貴社主催または協賛のイベント名」「貴社名」「貴社の連絡先」「顧客情報の変更、削除、情報提供の停止の方法」を明示してください。

提供した顧客情報の管理責任について

提供した顧客情報は、「個人情報の保護に関する法律」などに基づいて、貴社の責任において管理・運用願います。万が一、事故などで顧客または貴社に損害が生じた場合も弊社では責任を負いかねます。

■スケジュール

- 6月 2日 ご協賛申込締切
- 6月上旬 プログラム決定
- 6月中旬 セミナー告知集客開始 (Web)
- 7月下旬～8月上旬
セミナー開催
- 9月上旬 講演レポート掲載
 - ✓日経ビジネス 9月1日 (売) 予定
 - ✓日経エコロジー 9月 5日 (売) 予定
 - ✓日経ビジネスONLINE Special 9月 5日～ 予定

■お問い合わせ

日経BP社経営メディア本部 広告部
E-Mail: b-ad@nikkeibp.co.jp
TEL03-6811-8031
〒108-8646東京都港区白金1-17-3